

項目	内容
名称	アスパラギン [英]Asparagine (Asn) [学名]-
概要	アスパラギンは、生体内でアスパラギン酸から可逆的に生合成が可能な非必須アミノ酸で、植物界に広く存在する。
法規・制度	<p>■ 食薬区分 「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質（原材料）」に該当する。</p> <p>■ 食品添加物 ・ 既存添加物 L-アスパラギン：調味料、強化剤</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・ 略号AsnまたはN、C ₄ H ₈ N ₂ O ₃ 、分子量 (MW) 132.12。L-体はタンパク質構成アミノ酸の1つ。非必須アミノ酸で、体内でアスパラギン酸から作られ、アスパラギナーゼによってアスパラギン酸とアンモニアに分解される (32)。
分析法	・ イオン交換クロマトグラフィーにて分離後、ニンヒドリンなどの発色試薬で発色し蛍光検出器 (励起波長440 nm、蛍光波長570 nm) を装着したアミノ酸自動分析計により分析する方法が一般的である (101)。
有効性	
ヒ 循環器・ ト 呼吸器	調べた文献の中に見当たらない。

での評価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
	免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(101) 衛生試験法・注解2000 金原出版株式会社 日本薬学会編 (32) 生化学辞典 第4版 東京化学同人生化学辞典 (PMID:18508175) Food Chem Toxicol. 2008 Jul;46(7):2568-72.	